

焼岳・乗鞍岳火山防災協議会 有識者の追加について

1. 有識者の追加候補について

候補者 松本大学総合経営学部観光ホスピタリティ学科 入江さやか教授

2. 入江教授の略歴

一橋大学卒業後、読売新聞社で科学・災害報道を担当。その後米国留学を経て、2000年にNHKに入局。社会部災害班や報道局災害・気象センター、放送文化研究所で災害報道・情報伝達の調査研究に従事。2022年より松本大学の教授となり、地域防災や災害情報の伝達に関する教育・研究を展開し、自治体・メディア・研究機関との連携調査を多数実施。災害報道の実務経験と研究を融合させることで、防災・減災に貢献している。

3. 追加を希望するに至った理由

入江教授は、地域防災および災害情報の伝達について研究され、内閣府の「南海トラフ巨大地震対策検討ワーキンググループ」の検討メンバーや、気象庁の「広域降灰対策に資する降灰予測情報に関する検討会」の委員等も歴任されている。

降灰予測情報の検討に携わられたこと、松本大学地域防災科学研究所にも属して、地域防災に関する地域密着型の研究を進められ、焼岳・乗鞍岳周辺地域の地理的特性や住民意識も熟知されていること、また、災害報道の実務経験を踏まえた災害情報の伝達、リスクコミュニケーション等の研究による知見は、焼岳・乗鞍岳火山防災協議会の有識者として適任と考える。